

第39回全九州高等学校バスケットボール競技大会

公式ボックス・スコア

男子 シード決定戦

試合日：平成21年2月15日(日)
 開始時刻：14時
 会場：宮崎市総合体育館
 コート：Bコート
 試合順：第4試合

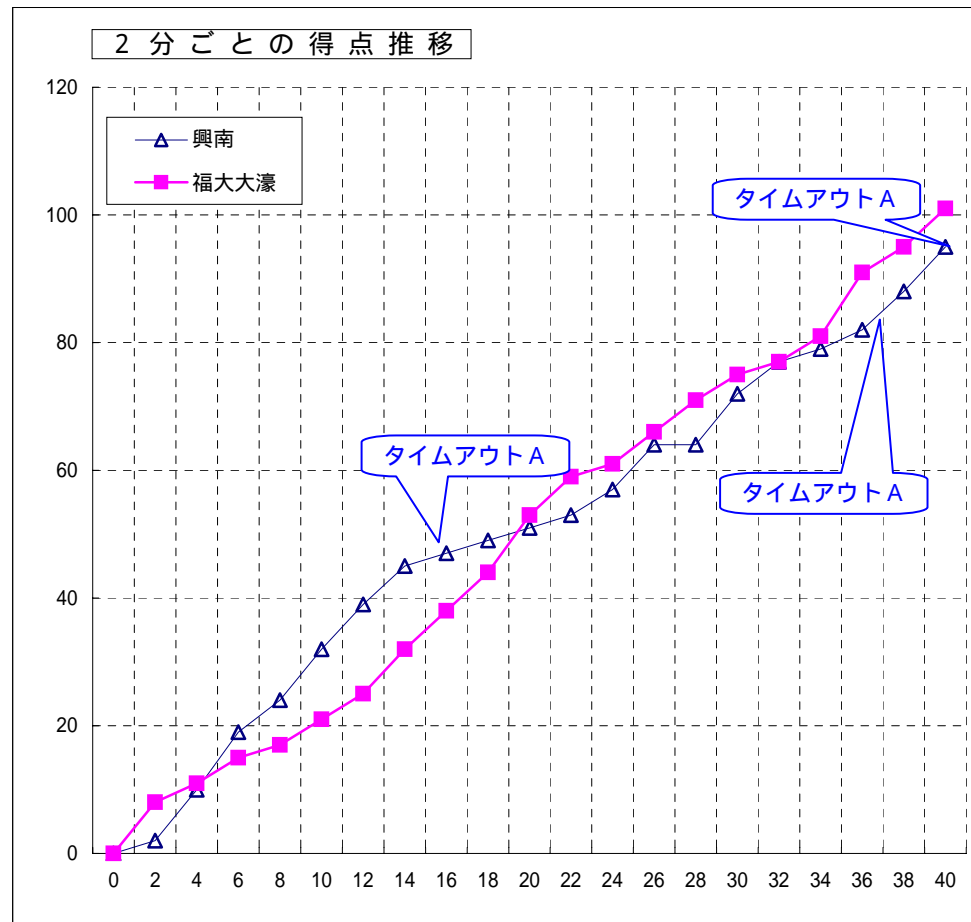
Team A		Team B															
興南	95	101 福大大濠															
(沖縄1位)	<table border="1"> <tr><td>32</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>32</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>22</td></tr> <tr><td>23</td><td>-</td><td>26</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	32	-	21	19	-	32	21	-	22	23	-	26	-	-	-	(福岡2位)
32	-	21															
19	-	32															
21	-	22															
23	-	26															
-	-	-															

Team A 興南 (沖縄1位)

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F
			M	A	M	A	M	A	
4	上江田 真	19	5	13	2	7	0	0	2
5	宮里 航貴	14	2	4	4	5	0	0	3
6	浦崎 政成	10	1	1	2	3	3	4	5
7	宮城 朝一	0	0	0	0	0	0	0	0
8	山城 康二郎	25	0	0	11	22	3	5	3
9	川上 卓耶	0	0	0	0	0	0	0	0
10	伊敷 憂斗	0	0	0	0	0	0	0	0
11	伊集 貴也	18	2	3	5	16	2	2	4
12	宮宅 力	7	0	0	3	4	1	1	0
13	平得 文士	0	0	0	0	0	0	0	0
14	友寄 邦人	0	0	0	0	0	0	0	0
15	古我知 佑介	0	0	1	0	0	0	0	0
16	鈴木 裕也	2	0	0	1	1	0	0	1
17	渡口 嵩秋	0	0	0	0	0	0	0	1
18	比嘉 卓斗	0	0	0	0	0	0	0	0
井上 公男/TEAM									0
合計		95	10	22	28	58	9	12	19
RATE			45.5%	48.3%	75%				

Team B 福大大濠 (福岡2位)

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F
			M	A	M	A	M	A	
4	二宮 弘憲	8	0	0	4	11	0	2	5
5	永野 俊輔	20	0	1	9	18	2	3	5
6	堀江 彰文	2	0	1	1	3	0	0	0
7	矢嶋 瞭	41	3	7	15	22	2	6	1
8	花田 アーヌィ 真平	18	0	2	8	15	2	2	2
9	藤田 弘道	3	0	0	1	2	1	2	0
10	宮崎 弘太郎	0	0	0	0	0	0	0	2
11	藤原 宏伸	0	0	0	0	0	0	0	0
12	田中 貴啓	0	0	0	0	0	0	0	0
13	新飼 雄三	0	0	0	0	0	0	0	0
14	水口 雅也	0	0	0	0	0	0	0	0
15	川内 慎太郎	0	0	0	0	0	0	0	0
16	小原 大輝	0	0	0	0	0	0	0	0
17	藤原 慎一郎	9	0	1	4	6	1	1	1
18	中川 悠司	0	0	0	0	1	0	0	0
田中 國明/TEAM									0
合計		101	3	12	42	78	8	16	16
RATE			25%	53.8%	50%				



【戦評】

第1ピリオドから激しい点の取り合いとなった。大濠は#8花田の1on1、#7矢嶋を中心にペイントエリア内で得点を重ねた。興南は、アウトサイドを中心に#4上江田、#5宮里の3Pシュートで得点を重ねた。良い流れをつかんだ興南が大幅にリードし第1ピリオドを終了した。第2ピリオドは中盤まであまり動きはなかったが、残り3分を切ってから興南のアウトサイドシュートが落ち始め、徐々に大濠がペースをつかみ始めた。#7矢嶋、#8花田が連続して速攻を決め、51-53の大濠リードで前半を終了した。第3ピリオドからは一進一退の攻防が続き、72-75の大濠リードで第4ピリオドへ移った。序盤は大濠が#5永野、#7矢嶋の連続得点で引き離したが、残り3分から興南も盛り返した。残り1分で4点差まで詰め寄るが、結局95-101で大濠が勝利した。

主審

豆塚 宣男

副審

松本 究

記入者

工藤和裕・長田大輔